

空き家対策 空き家バンク

協議会の設置へ のすみやかな創設を

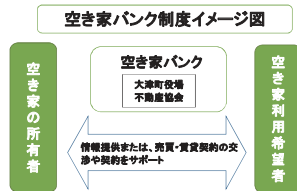


ウォーキング時にのぼり旗を持ってPR

Q 関連事業の進捗状況は。

A 令和元年度の関連事業は、開催地を移しながらのリレーシンポジウムのような形で、熊本市・菊陽町・大津町での実施を考えていて、菊陽町との合同でのシンポジウムを11月、文化の日前後の開催を検討している。

世界かんがい施設遺産の大々的なPRを



Q 熊本地震以降、空き家の調査は、進んでいるのか。

A 平成27年度に空き家調査を実施したが、地震後に空き家の状況が変わったため今年度に再調査を行い、具体的な空き家対策を進めていく。

意見 北部・南部地域においては、農地付き物件などで新規就農を促すため空き家等対策協議会に農業委員会等の人選を。

空き家等対策の推進を



空港ライナー

Q 空港ライナーの今後の運用は。

A 県からは、空港ライナーの廃止は、現時点では考えておらず自分の間継続すると回答があった。

地域公共交通網形成計画の推進を

Q 肥後大津駅北口周辺の活性化は

A 肥後大津にっこり会が昨年立ち上げられ、駅北口の活性化が期待される。今のところ計画は無いが、令和2年度以降の取り組みについては、駅北口も含めた議論を深めていく。

Q 駅周辺活性化事業は、駅南口に重点が置いてあるのか。



肥後大津駅北口周辺

肥後大津駅北口周辺の活性化は

将来を担う人材の育成は急務

Q 地域人材育成事業の目的と補助額は。

A 地区等で、将来を担う人材を育てるための研修などの費用補助を行うもので、先遣地研修が全額補助30万円上限。講師招へいが全額補助の20万上限、このほかに公共性の高い町づくり団体に対しても、活動費の補助がある。



研修風景

Q 今後の公共交通体系の整備は。

A 町内巡回バスの導入や乗合タクシーのエリア拡大等のメリット・デメリットを精査し、本町にあった公共交通体系の具体案を検討していく。

地球温暖化防止政策の推進を！

Q カーボンマネジメント事業の全国的な取り組みは。

A 地球温暖化を抑制するため、2013年に排出された温室効果ガス排出量を基準とし、2030年までに40%削減するもので、県内では、玉名市で採択され、市内の既存施設の空調設備やLEDへの切り替えを行っている。今後本町でも事業を推進していく。